

## 市長と語ろう！笠間タウントーク 第13回 議事録

**開催日時** 平成21年9月18日（金） 午後7時～9時00分

**開催場所** 市民センターいわま 2階会議室

**参加者** 市民 54人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 愛宕山の観光利用について（事前質問の回答への再質問）
2. 合併特例債事業の進捗状況と今後の計画について（事前質問の回答への再質問）
3. 防犯灯の設置について
4. 「天狗の郷バザール de いわま」の目的とこれまでの経過について（市職員の意識改革について）
5. 犬の登録のマイクロチップ制について（事前質問の回答への再質問）
6. 動物税の導入について（事前質問の回答への再質問）
7. 通学路の安全対策について
8. 排水路の整備について
9. 第2東宝ランドの合併浄化槽撤去工事に対する支援について
10. ミステリーショッパーの導入について（事前質問の回答への再質問）
11. 募金の集金方法について（事前質問の回答への再質問）
12. 市をあげて「どんと焼き」を実施してはどうか（事前質問の回答への再質問）
13. 交通の妨げとなる植木等の枝払いを年に一度、日を決めて実施してはどうか（事前質問の回答への再質問）
14. ごみの分別をもう少し細分化してはどうか（事前質問の回答への再質問）

### 《内容》

1. 愛宕山の観光利用について（事前質問の回答への再質問）

#### 【意見等】

笠間市は合併して4年になる。愛宕山は岩間地区の住民にとってはシンボリックな存在である。愛宕山の桜が終わると、観光客がいなくなる。そこで、お聞きしたい。

①桜の時節以外に観光ビジョンがあるのか。

②桜の山愛宕山ですが、全体でどのくらいの本数があるのか？またどんな種類の桜があるのか。

③愛宕山や難台山には自生した山桜（カスミ桜）があります。自生した山桜を観光に考えていないのか。

④市内にある公園数、面積、管理費は、うち愛宕山は？

⑤元町有林の有効利用は。一山に山桜等を植えるつもりはないか。

どこから愛宕山を見ても桜が見えるような、中期的長期的計画をもって、桜の名所にしてほしい。難台山の前面山桜の写真等を撮ってきたので、見てほしい。

#### 【回答】

事前質問にありましたので回答を用意していますので、詳しい数字等はそちらを参照していただきたいと思いますが、今のご意見は、愛宕山に対する強い思いの表れだと思っています。

観光笠間という観点からも岩間地区では、愛宕山とスカイロッジを中心とした取組みをしていきたいと考え、現在も取り組んでいるところです。

スカイロッジについても、観光協会を指定管理者としており、いろいろな宿泊プランを提供し、前年を上回る利用者を確保しています。

今市では、民間の観光業者から観光マネージャーを迎え入れ、市全体の観光推進を図っています。最近この観光マネージャーが着地型の観光プランを10数通り作り上げました。岩間地区でのプランも組み込んであります。この地域でしか味わえない観光プランを作って、積極的に売り出したところなんです。市町村でこうした例は、ほかにはなかなかないと思います。こういったものに岩間地区で取り入れられるものは取り入れて、プランの拡大をしていき、観光客の拡大も図っていきたいと思います。

愛宕山は桜の名所です。考えとしては、桜の名所をあちこちにつくるのではなく、岩間地区であれば愛宕山、友部地区なら北山公園、笠間地区なら佐白山としていきたいです。昨年、桜の保全推進委員会をつくり、愛宕山なら桜をどこに植えるかなどは、委員会で方向付けしていきたいと考えています。

## 2. 合併特例債事業の進捗状況と今後の計画について（事前質問の回答への再質問）

### 【意見等】

合併特例債の関係で、私たちが知りたいのは合併したことによって何ができたのか。いくらかかったのかである。現在までの合併特例債の利用率というのか、金額が、どこにどのように使って、現在どのくらいの利用率になっているのか。今後、どのような年次計画でどのくらいのお金をかけ、事業をやるのかというところまで教えていただきたい。

「わかりやすいかさまの予算」は大変よく書いてあると思うが、この中に合併によって行った事業を別枠で記載してほしい。また、予算だけでなく、決算を入れてほしい。「わかりやすいかさまの決算」もつくってほしい。

### 【回答】

合併特例債に対しての使い方を広報していくというのは確かに必要だと思います。

「わかりやすいかさまの予算」では、予算一本という形で出していますので、合併特例債の使い方についてはもう少しわかりやすい形で広報をしていきたいと思っています。

合併して、合併特例債を使える枠は320億円ぐらいでした。合併協議会では、その使える枠を全部決めず約130億円を決め、道路、学校の耐震化などある程度の使途として、残りは新しい市になってから決めようとスタートしました。

現在までに、合併特例債を使ったのは、4年間、21年度の見込みを含めて約56億円です。例えば、岩間地区ですと、道路は1級12号線、岩間八郷線、学校のトイレの改修、岩間支所の整備、岩間中学校の校舎の建替え、岩間駅周辺整備事業、岩間駅東大通線に使っています。3地区で見ると岩間地区で使っているのが一番多いです。今後何に使うかは、現在までに方針で決まっているのは、合併当初に決めた学校の耐震化です。

そのほか、具体的に年度の予算を組むときに、合併特例債を当てた方が有利なのか、一般の地方債の方が有利のかなどを考慮して、財政運営を考えています。

合併特例債の30%は市の借金になってしまいますので、枠があるからといって、10年間で320億円をすべて使い切るという考え方はもっていません。どこまで使うかは、議会とも議論をして進めていきたいと思っています。

「わかりやすいかさまの決算」については、予算は4月で、決算は9月で、一緒に出すのは難しいですが、簡略に出すことは可能ですが、決算は前年度の決算になりますので、話題としては、古くなってしまいうこともあります。

## 3. 防犯灯の設置について

### 【意見等】

岩間八郷線の工事が進められている。五霊地区から山根地区まで約600m、市管理の防犯灯が付くよう予算を取ってもらった。これについて、山根地区の新設の道路のカーブのところに民家が2軒あり、防犯灯の設置を要望したが、居住地から近いので地区設置にしてほしいといわれた。従来であれば防犯灯は必要なかったが、道路が整備されることによって防犯灯が必要になった箇所である。

愛宕山も近く、見知らぬ人の散歩を多く見かけるようになった。道路状況がよくなれば、さらに増えると思われる。そうすると防犯の面で心配も出てくる。道路ができたがために、必要になった防犯灯は1か所だけなので、市で考慮してほしい。無理な願いかもしれないが、現地を見て検討してほしい。

### 【回答】

担当課で現地をよく見させてもらいます。

## 4. 「天狗の郷バザール de いわま」の目的とこれまでの経過について（市職員の意識改革について）

### 【意見等1】

昨年の市政懇談会で発言をしている。人からその時の私の発言について話をされた。これは、市役所の職員が私について話したのか、他の参加者が話をしたのかわからないが、もし、市の職員が話をしたのなら本末転倒で、こういう場所で発言をしたことについて、そういう受け止め方をされるということは、残念に思っている。

以前、例え過去の話でも、人事異動があってもきちんと引継ぎがされていれば、問題はないという

主旨のことを話したつもりである。そのことで、伺いたいのが、毎月第2日曜日に「バザール de いわま」が開催されているが、いつからなぜ始まってどういう経過をたどっているのか、答えられるか。きちんとわからないで補助金を出していると思う。市役所では、初期の目的は理解されていない。知ろろうともしていない。市はお金の使い方に対して鈍感なのではないか。民間は費用対効果を検証しながらやっているが、市役所はどうか。

「バザール de いわま」は地域の商業者の振興のためにスタートした。最初は、「天狗の郷フリーマーケット」として、平成12年の12月に始まり、なかなか市内の人が集まらないので、やめようという話もあったが、継続は力なりということで、途中から名前を変えた。平成16年に岩間町と農協が地産地消で関わり、歩行者天国にして実施され、今日まで続いている。そういう経緯があるのに、市は、市が補助金を出している団体を知ろろうとしていない。市長はどう思うか。

【回答1】

「バザール de いわま」は、岩間地区の方で構成している運営委員会が運営・企画をしています。毎月1回運営委員会を開催し、円滑に運営できるよう運営委員会の中で考えていますので、市は運営には直接関与していませんが、出展記録等はこちらのようにしています。市からは補助金がでていますが、運営委員会の自助努力によって売り上げが伸びていくようであれば、補助金を下げていきますと運営委員会にも話しています。

【意見等2】

税金の未納のない証明を提出しないとセーフティーネット融資が受けられない。市からその証明をもらうために、借金をしてまで税金を納める個人事業者もいる。そういうことを市の職員はわかって、税金である市のお金を使っているのか。

公務員の改革というのは、人を減らすのではなく、意識の改革であると思う。意識を変えて行政をつかさどってもらいたい。市長だけでなく、幹部の職員もきちんと理解して、これからの笠間の行政運営をしてほしい。

【回答2】

今年の3月に金融審査会の中で、市の納税証明を添付しなくても、認定しますということ各金融機関に話をしてあります。完納していなければ貸せないというのはセーフティーネットではありません。自治金融・振興金融の方は完納が条件となっています。

【回答3】

バザールのことは、一つの例として、税金をしっかりと使ってほしいという話かと受け止めています。民間ではお金の使い道は本当に真剣にやっているのだから、民間の方から見れば、役所のお金の使い方が甘く見えるのかと思います。市は、皆さんが思っているほど、鈍感ではなく、いろいろな議論をして予算組みをしています。税金の使い方をしっかりと、補助金を出した場合には、補助金に対する費用対効果など「行政としてしっかりと管理しながらやってほしい」というお話かと思えます。改めて、しっかりとやっていきたいと思えます。厳しいご意見をいただくことも、われわれの勉強になります。

## 5. 犬の登録のマイクロチップ制について（事前質問の回答への再質問）

【意見等】

笠間市には、県の動物指導センターがある。毎日ガス室で処分される動物たちを見ていて、人間はなんてひどいことをするのかと思って過ごしている。事前質問に出したマイクロチップの提案に対する回答は、「装着を義務付けている自治体はないから笠間市もやらない」というふうに受け取れた。

茨城県は、動物指導センターに来た犬が飼い主の元に戻る返還率が全国で一番低い。飼い主は自分の犬がいなくなっても探さない。返還率の全国平均は30%ほどで、東京などは70%を超えているのに、茨城県は1.2%ほどで雲泥の差である。マイクロチップをつけていれば、返還率も上がるし、処分される動物も減るのではないか。回答に「個人の負担がかかる」とあるが、マイクロチップ導入にそれほどの金額はかからない。

動物指導センターで処分される動物たちの譲渡を受け、新しい飼い主に送り出すボランティアをしているが、出しても出しても、追いつかない。

指導センターの所在地である笠間市では、ほかでやっていなくも先進的に取り組んでいくべきである。市長の考えを伺いたい。

【回答】

率直に言って、ご質問をいただいはじめてマイクロチップ制度を知りました。

今のお話を聞いて、マイクロチップ制度の導入もさることながら、茨城県は飼い主としてのモラルが低すぎるのかと思います。飼う主のモラルを高めることも必要なのではないかと思います。

【意見等2】

人間はそう簡単には変わるものではない。ガス室で処分される犬を見てほしい。どんなに苦しんで死んでいることか。そうすれば、動物行政をなんとか変えようという気になるのでは。国にも安楽死に変えるよう要望をしているが、何年たっても何の変わりもない。

【回答】

以前一度見たことはあります。いろいろ考えさせられることはあります。マイクロチップ制度についてよく勉強させてもらいます。

6. 動物税の導入について（事前質問の回答への再質問）

【意見等】

動物税の話は、ドイツが12000円です。その半分くらいではと6000円の動物税の導入を提案させてもらった。お金がかかれば、無責任に動物を飼う人が減るのではないかと思います。

【回答】

マイクロチップ制度を含めてよく勉強してみます。

7. 通学路の安全対策について

【意見等1】

355号バイパスが今年度中に開通すると知らせがきた。計画が出た段階の地域の説明会では、道路に近い岩間第三小学校の児童が安全に通学できるよう対策をとってほしいと信号機の設置、横断歩道の確保、通学路の整備などを要望していた。ただ実際に仕上がらないと県の公安委員会の手続きができないとのことで、今まで待っていた。355号バイパスは、地域振興には期待をする道路である反面、子どもたちは交通量の多い道路を通わなくてはならない。通学路の安全対策はどうなっているのか。県の土木とはどういう意見交換がされているのか、地元として不安を持っている。

また、通学路として簡易舗装をした道路の路肩が崩れている。あわせて整備をしてほしい。

【回答】

通学路の安全対策についてですが、供用開始まであと6か月あります。PTA、学校、教育委員会と協議をしながら、どのルートが安全か協議をして通学路を決めていきたいと思っています。

工事中の通学路の安全確保は、十分に考慮するよう県の土木事務所と話を進めています。

通学路の路肩が壊れているという箇所については現地を確認して、補修していきたいと思っています。

信号機の設置については、上吉影岩間線と交差して、現在は355号バイパスが途中で止まっている場所の八郷方面からくるところに、供用開始と同時に設置します。また、時期は確定していませんが、福島地区から平地区に抜ける道路の交差点にも設置する申請をしたところです。

【意見等2】

できれば早めに地元の話を下ろしてほしい。地元の皆さんが、子どもたちを安心して学校に通わせられるようにしてほしい。

信号機は多く付けると追突事故を招きやすくなるという話も聞いているので、必要以上に付ける必要はないかと感じている。

8. 排水路の整備について

【意見等】

上吉影岩間線からの排水と岩間第三小学校の排水が合流して355号（バイパス）を横断している。本線（バイパス）から上については、大きなU字溝を整備してもらっているが、東側（下流）については、幅60センチの土地改良事業で整備した柵きよが入っているだけで、ここに本線が開通すると355号のバイパスの排水が入り込んでくる。そうすると農繁期の田んぼの排水と355号の排水が合流するのでいつもあふれる状態になる。構造的に現地をよくみて、上部機関と協議をしてもらいたい。田んぼが満水状態になり、作物に影響がでる。

【回答】

排水路の整備について、確かに構造上の問題があり、土木事務所に話しており、現地を調査しながら整備を進めるということになっています。

## 9. 第2東宝ランドの合併浄化槽撤去工事に対する支援について

### 【意見等】

第2東宝ランドでは去年から下水道整備工事が始まっているが、この地区には30年前から使っている合併浄化槽がある。年間3百万円をかけて維持し、汚水をきれいに浄化し、川に流してきた。下水道工事が終われば使わなくなる。取り壊し工事に見積りの段階で、数千万円かかり、住民負担がかなり大きくなる。住民からは、「今まで生活廃水を垂れ流しているような人はお金がかからなくて、この地区のようにきれいな排水に取り組んでいたところに余計に負担がかかるのはおかしい」と声があがっている。助成をいただける話もあるが、住民の負担が減るように配慮していただきたい

### 【回答】

課題があると話は聞いています。よく話し合いをさせていただきたいと思います。

## 10. ミステリーショッパーの導入について（事前質問の回答への再質問）

### 【意見等：】

行政のイメージとして「無駄遣い」「信頼ができない」ということがある。窓口アンケートを実施しているとのことだが、おそらく一部だけで、市民の真意を汲めるものではないと思う。企業に導入されているミステリーショッパーは、効果も高いと思う。

市民の意見が通るような先進的なシステムを笠間市でやってほしい。

### 【回答】

ご意見があったミステリーショッパー、いわゆる覆面調査ですが、県内では先般つくば市が先進的に実施をし、効果があったと聞いています。市では、定期的に窓口アンケートを行い、改善に努めているところですが、今後検討していきたいと思います。

職員の資質の向上については、一生懸命やっていますので、ご理解をいただきたいと思います。

市民の信頼を得られるよう説明責任と対応の仕方について、しっかり指導していきたいと思います。

## 11. 募金の集金方法について（事前質問の回答への再質問）

### 【意見等】

募金について、各家庭を回って募っている。役員が家に直接回って来るからしょうがなく募金をしている人もいると思う。この状況は、募金の趣旨とは違うのではないか。募金の集金については、区長さんに任せているとのことだが、各団体の募金の趣旨などが見えない。

### 【回答】

平成21年度から募金を集める個々の団体が、区長さんに直接趣旨を説明するようにしています。募金の結果や使い道などの報告も、行政が行うものと各団体が行うものと役割分担をしてしっかり行っていきたいと思います。

## 12. 市をあげて「どんと焼き」を実施してはどうか（事前質問の回答への再質問）

### 【意見等】

正月行事のどんと焼きを市をあげてやったらどうか。

### 【回答】

市が行うというよりは、地域の伝統行事として続けてほしいと思います

## 13. 交通の妨げとなる植木等の枝払いを年に一度、日を決めて実施してはどうか（事前質問の回答への再質問）

### 【意見等】

植木で道路にはみ出しているところがあるので、年1回くらいは市民総出で枝払いを行ってはどうか。

### 【回答】

樹木が張り出している場合は、確かに危険もあります。本来は所有者の責任ですが、通学路などで危険性があるというところは、地域の方では所有者になかなか言いづらい部分もあるかと思っておりますので、役所に相談していただければと思います。

関連してですが、皆さんは当然行政がやるべきと思っていることがあると思いますが、行政がやる

もの、市民の自己責任でやるもの、協働でやるものと、難しいことですが、きちんと整理することが必要だと思っています。すべてを行政が対応していくことは不可能だと思っています。

14. ごみの分別をもう少し細分化してはどうか（事前質問の回答への再質問）

【意見等】

ごみの分別で、例えば、スチール缶とアルミ缶があるが、缶ということで一緒である。別々に収集してはどうか。プラスチックキャップも分別してはどうか。

【回答】

分別収集は笠間地区と友部・岩間地区は処分場の関係で違いはありますが、他市町村から比べると分別している方ですが、それでいいということではなく、市民全体の理解を得ながら、検討課題にしていきたいと思っています。